

HTLV-1抗体陽性妊婦に関する調査

調査対象 : 日本産婦人科医会に登録されている全国の分娩取り扱い施設
実施時期 : 2023年9月～11月
調査目的 : 妊婦のHTLV-1キャリアのスクリーニング検査の状況およびHTLV-1キャリアのケアについての実態を把握すること
送付数 : 2,010 施設 (うち、有効総数 2,002 施設)
回答施設数 : 1,290施設 (回答率64.4%)

日本産婦人科医会 母子保健部会

締め切り：2023年●月●●日

「施設番号」 「施設名」

(FAX : 03-6685-3718)

迅速に集計処理を行うため、できるだけ早いでの回答をお願いします。
 調査フォームは、厚生労働省「HTLV-1抗体陽性妊婦に関する調査」母子保健部会からアクセスできます。お戻りコードからもできます。
 印刷用紙(別紙「03-6685-3718」)は郵送記入した用紙のみ送付ください。



HTLV-1抗体陽性妊婦に関する調査

ご注意 ※ 2022年1月1日より2022年12月31日に貴施設で実施した HTLV-1抗体関連検査についてご記入ください。なお、年度での回答を希望する場合は2022年度でご回答ください。

Q01: 2022年1月1日より2022年12月31日に貴施設で実施した HTLV-1抗体関連検査の実施数についてご記入ください。

前年度でのスクリーニングの実施	実施	未実施
スクリーニングの開始	()人	()人
スクリーニングの継続	()人	()人
継続検査の継続	()人	()人
PCRの開始	()人	()人
PCRの継続	()人	()人

未実施の理由
 第1:すでにHTLV-1キャリアと診断されているため
 第2:施設のため

Q02: Q1でHTLV-1キャリアと診断された妊婦の中で、前妊妊婦時に陽性であった産産婦はいましたか。

いなかった いた ⇒ ()人

Q03: Q1でHTLV-1キャリアと診断された妊婦の出産後の最初の授乳方法の選択はどのようなものでしたか。産例数でご回答ください。

<input type="checkbox"/> 短期母乳栄養	例	⇒ Q04へ
<input type="checkbox"/> 人工栄養	例	
<input type="checkbox"/> 産科検診母乳栄養	例	
<input type="checkbox"/> 母乳栄養(長期)	例	⇒ Q09へ
<input type="checkbox"/> その他()	例	

Q04: 結果的に短期母乳栄養を選択した施設についてお伺いします。

Q04: 結果的に短期母乳栄養が達成できましたが、施設で把握できている理由をお答えください。
 短期母乳栄養として3か月で断乳できた(完達できた) 例 3か月より前から人工栄養になった 例
 短期母乳栄養の終了が出来ず、長期母乳栄養になった 例 短期母乳栄養中に長期母乳栄養に選択変更して実践した 例
 フォローできていない 例 フォローできていない 例

Q05: 貴院では主に産前産中や分娩で入院中の母体の母乳育児中のケアを担っていますか？(複数回答可)

産婦人科医師 助産師などの看護スタッフ 保健師など行政スタッフ
 小児科医師 母乳ケアの専門家がいる施設に紹介している
 本人に変わっている わからない
 その他()

Q06: 貴院では主に産後退院後の母体の母乳育児中のケアを担っていますか？(複数回答可)

産婦人科医師 助産師などの看護スタッフ 保健師など行政スタッフ
 小児科医師 母乳ケアの専門家がいる施設に紹介している
 本人に変わっている わからない
 その他()

Q07: 貴院では退院後、母子はどこでフォローされていますか？(複数回答可)

母乳外来/産科外来 医師外来 地域助産所/母乳相談室など
 乳児健診外来 産科検診外来
 フォローしていない その他()

Q08: 貴院では母乳育児中の相談・ケアはいつ頃まで行っていますか？

1か月健診まで 断乳終了まで(3～4か月頃まで)
 断乳後も必要に応じて継続的に フォローしていない
 その他()

Q09: 妊婦がHTLV-1キャリアと診断された場合、貴院ではどのような授乳法を原則に勧めますか。産例で複数選択している場合は複数選択してください。(複数回答可)

人工栄養 短期母乳栄養 産科検診母乳栄養
 母乳栄養(長期) その他()

Q10: HTLV-1キャリアと診断された妊婦から出生した児のフォローアップはどのようにしていますか？

小児科(自施設内)等に紹介する 自施設でフォローアップする
 妊婦の選択に委ねる フォローアップしていない
 その他()

Q11: HTLV-1キャリアから出生した児の母子感染を確認するために検ごる抗体検査が勧められています。貴院では抗体検査について、どのように対応していますか？

特に考慮していない 必要性について説明している
 必ず行う(自施設内)小児科医師に紹介する 地域のHTLV-1専門施設に紹介する
 その他()

Q12: HTLV-1キャリアと診断された妊婦に対してどのような説明を行っていますか？(複数回答可)

主に母体で母子感染すること
 短期母乳栄養での母子感染率は人工栄養と同程度なこと
 関連疾患とその発症率
 キャリアの感染率は地域差があること
 母乳栄養のメリットと限界
 母子感染の確認検査の必要性について
 その他()

Q13: HTLV-1キャリア妊婦自身がHTLV-1感染について専門的な診療を希望された場合に、専門施設に紹介するシステムが施設にありますか？

ある ない わからない

Q14: HTLV-1キャリア女性の分娩後のフォローアップについて、貴院に当てはまるのはどれですか？

自施設で対応している 地域のHTLV-1専門施設に紹介している
 特に何もしていない その他()

Q15: 貴院では、HTLV-1キャリアと診断された妊婦の心のケアについてはどのようにしていますか？(複数回答可)

基本的に十分な説明で解決する 不安があれば相談を促す
 説明があればHTLV-1専門施設にケアを依頼する 説明と併せて、自施設で対応している
 精神科を含めたケア体制を整備している 地域の保健師に依頼する
 特に何もしていない その他()

Q16: HTLV-1キャリア妊婦の診療を充実させるために希望することはありませんか？(複数回答可)

専門施設への紹介システムの構築 産後フォローアップの体制
 専門施設への紹介システムの構築 専門家との相談窓口の設置
 その他()

Q17: HTLV-1キャリア妊婦の診療で困っていることはありますか？

ない ある ⇒ 具体的に記載ください

ご協力ありがとうございました。

回答施設の区分

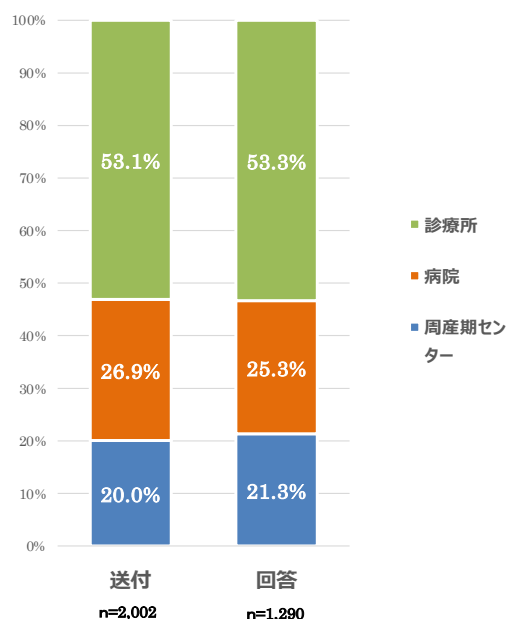


図2

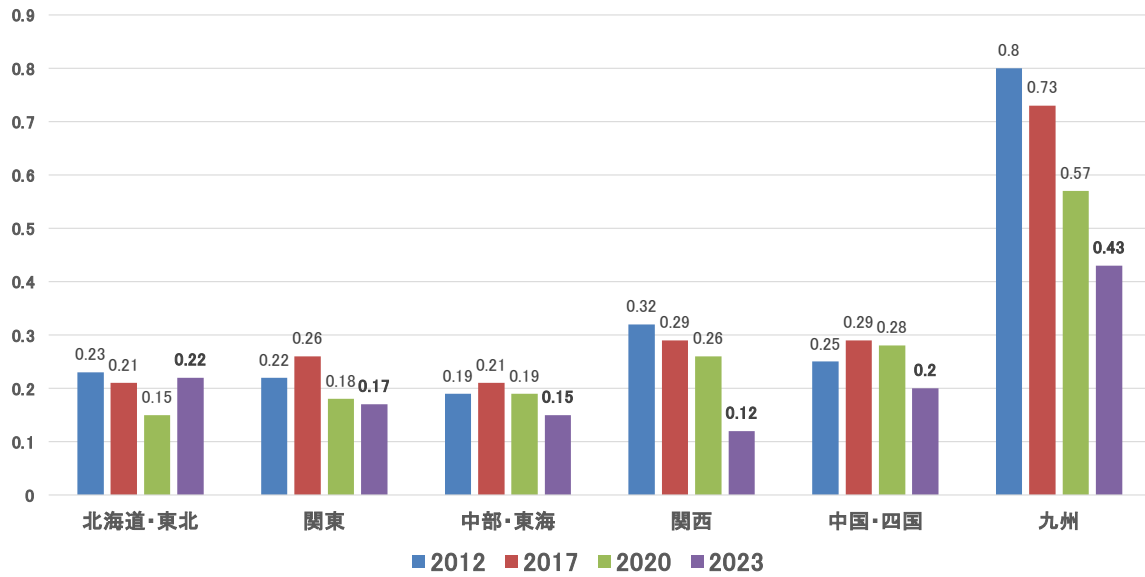
HTLV-1スクリーニングおよび確定検査の実施状況

2023年調査	スクリーニング検査			確認検査(LIA法)					PCR検査				
	検査数	陽性数	%	実施数	陽性数	%	判定保留数	%	実施数	陽性数	%	判定保留数	%
北海道・東北	35,479	78	0.22	69	22	31.9	12	17.4	11	0	0.0	0	0.0
関東	162,000	274	0.17	258	55	21.3	42	16.3	49	8	16.3	2	4.1
中部・東海	60,039	88	0.15	82	31	37.8	14	17.1	15	3	20.0	0	0.0
関西	64,161	154	0.12	135	24	17.8	6	4.4	8	1	12.5	1	12.5
中国・四国	40,509	79	0.20	71	16	22.5	8	11.3	9	0	0.0	0	0.0
九州	62,659	272	0.43	199	120	60.3	14	7.0	11	8	72.7	0	0.0
合計	424,847	945	0.22	814	268	32.9	96	11.8	103	20	19.4	3	2.9

2020年調査	スクリーニング検査			確認検査(LIA法)					PCR検査				
	検査数	陽性数	%	実施数	陽性数	%	判定保留数	%	実施数	陽性数	%	判定保留数	%
北海道・東北	50,413	74	0.15	74	34	45.9	4	5.4	5	0	0.0	1	20.0
関東	201,649	372	0.18	344	120	34.9	40	11.6	42	8	19.0	0	0.0
中部・東海	104,984	198	0.19	191	56	29.3	12	6.3	18	4	22.2	2	11.1
関西	80,717	212	0.26	186	77	41.4	11	5.9	10	4	40.0	2	20.0
中国・四国	48,063	134	0.28	119	55	46.2	8	6.7	10	3	30.0	1	10.0
九州	82,800	476	0.57	360	239	66.4	14	3.9	19	6	31.6	2	10.5
合計	568,626	1,466	0.26	1,274	581	45.6	89	7.0	104	25	24.0	8	7.7

図3

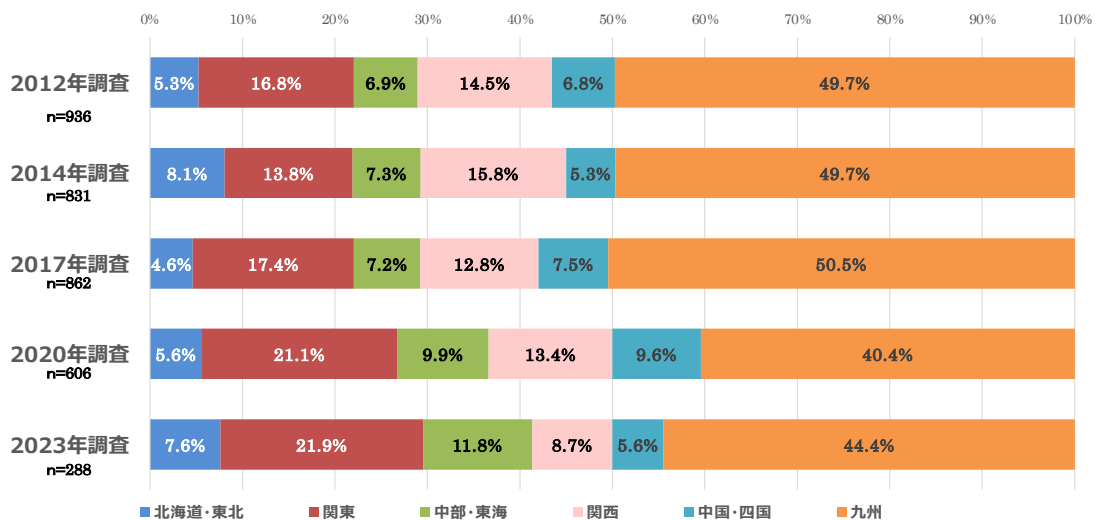
HTLV-1スクリーニング検査の地域別陽性率の推移



・九州では陽性率が確実に低下してきている。関西でも減少傾向にある。

図4

HTLV-1キャリア妊婦の地域別割合の年次変化



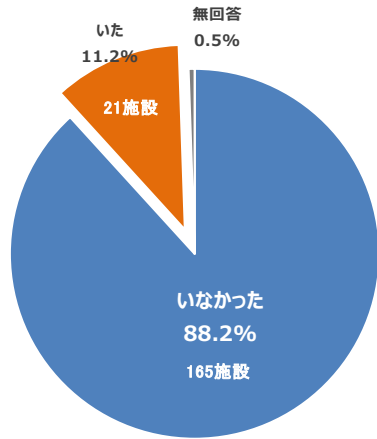
HTLV-1キャリアは関東、中部・東海地方でその割合が増加傾向にある

図5

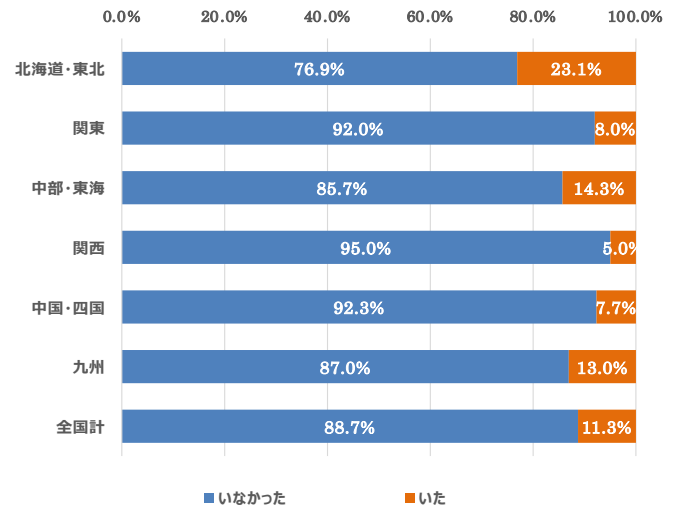
HTLV-1キャリアと診断された妊婦に前回妊娠時に陰性の経産婦はいましたか

HTLV-1の水平感染を疑う妊婦がいた施設

HTLV-1キャリアがいた施設: 187施設



※HTLV-1キャリアと診断された妊婦=確認検査で陽性+PCR検査で陽性

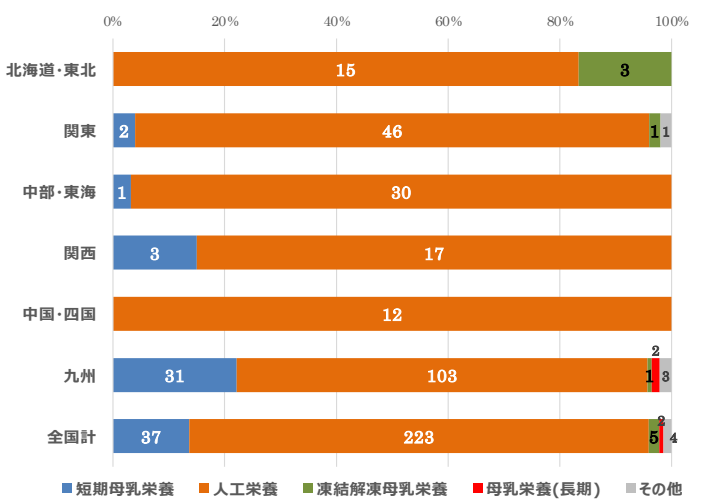
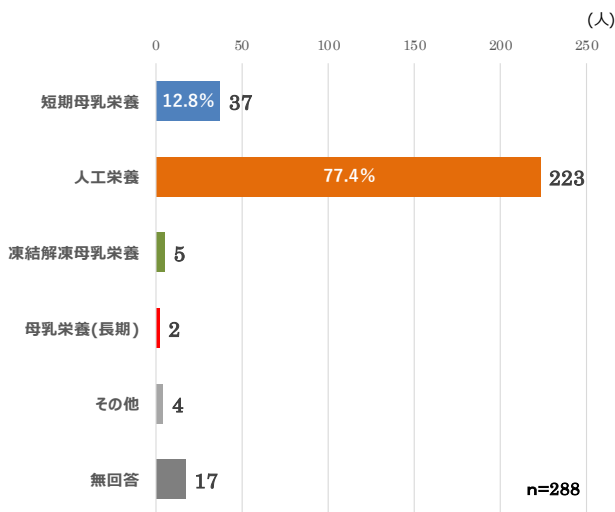


・HTLV-1キャリアと診断された妊婦288人のうち、前回陰性であった妊婦 21人(7.3%)は水平感染の可能性はある。

図6

HTLV-1キャリアと診断された妊婦の出産後の最初の栄養方法の選択

※HTLV-1キャリアと診断された妊婦=確認検査で陽性+PCR検査で陽性



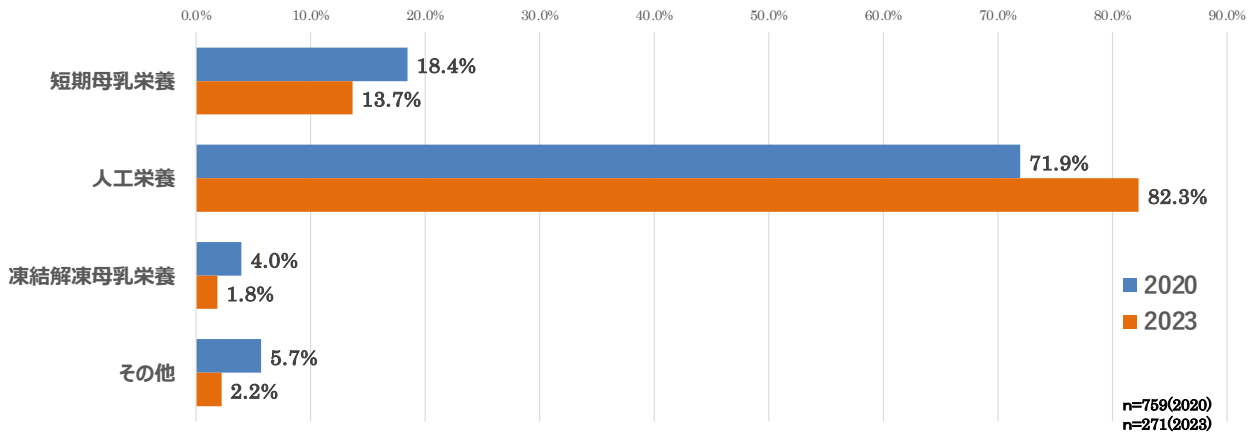
HTLV-1キャリア妊婦の栄養方法の選択

- 77.4%が人工栄養を選択しており、短期母乳栄養の選択は12.8%であった。
- 短期母乳栄養は九州地方や関西地方で選択されることが比較的多い傾向にある。

図7

HTLV-1キャリアと診断された妊婦の出産後の最初の栄養方法の選択

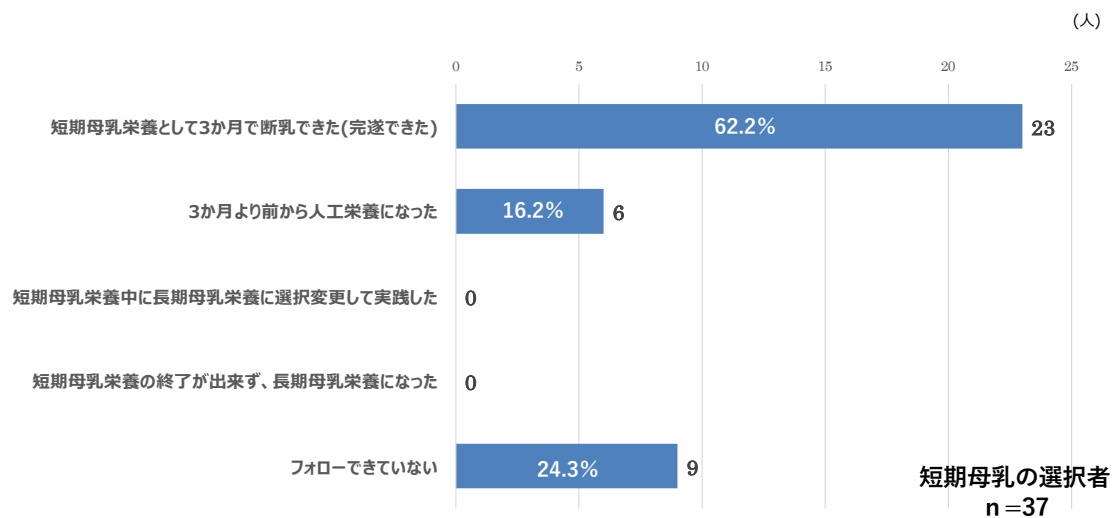
※HTLV-1キャリアと診断された妊婦=確認検査で陽性+PCR検査で陽性



・「産婦人科診療ガイドライン産科編2020」からHTLV-1キャリアの栄養方法として、人工栄養が推奨されたこともあり、人工栄養を選択する割合が増加している。

図8

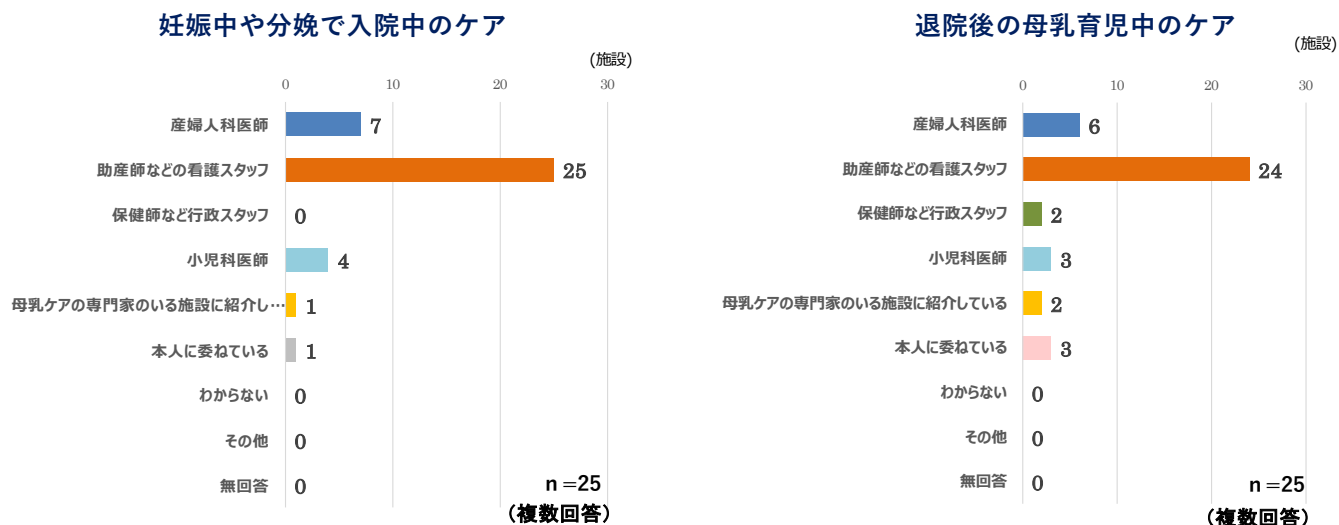
【HTLV-1キャリアが短期母乳栄養を選択した妊婦の場合】 結果的に短期母乳栄養が達成できましたか



・短期母乳栄養の選択者は37名と少ないものの24.3%はその後のフォローが出来ていない結果であった。
・今回の調査では、短期母乳栄養をフォローした中では、長期母乳に移行した症例はなかった。

図9

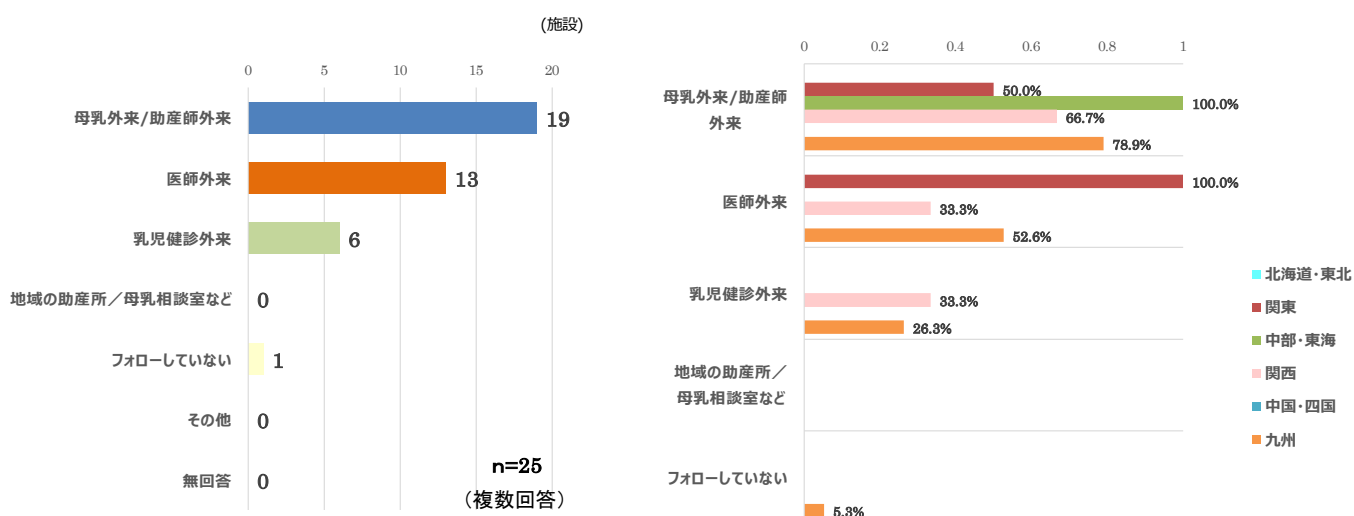
【HTLV-1キャリアが短期母乳栄養を選択した妊婦の場合】
貴院では主に誰が母体の母乳育児中のケアを担っていますか？



- 短期母乳栄養の母乳育児のケアは全施設で助産師などの看護スタッフが担っている。また、退院後も看護スタッフが担っている。
- 妊娠中から産後まで地域の母乳ケアの専門家に委託することもあり、また、産後は行政に紹介する場合もある。

図10

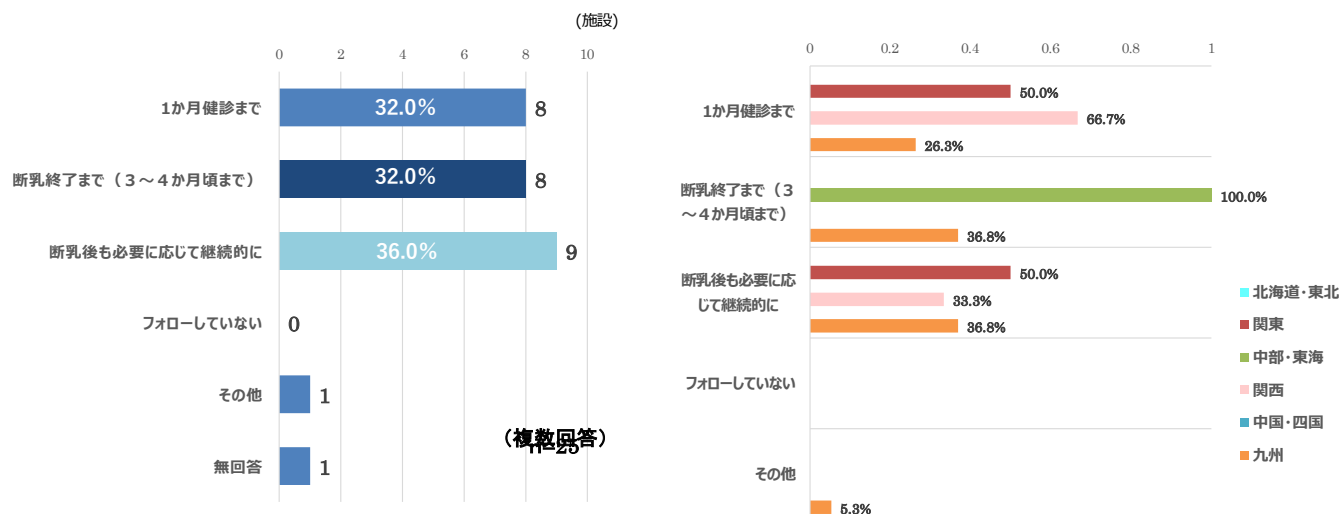
【HTLV-1キャリアが短期母乳栄養を選択した妊婦の場合】
貴院では退院後、母子はどこでフォローされていますか？



- 退院後の母子は、母乳外来/助産師外来や医師の外来、乳児健診外来などでフォローされている

図11

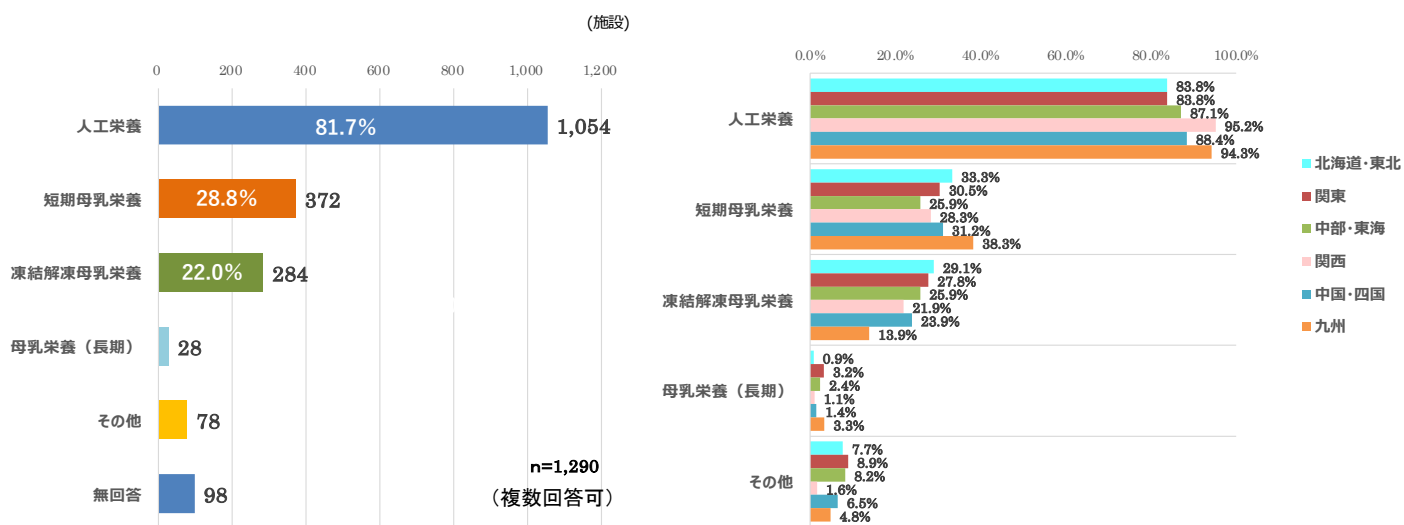
【HTLV-1キャリアが短期母乳栄養を選択した妊婦の場合】 貴院では母乳育児中の相談・ケアはいつ頃まで行っていますか？



短期母乳栄養中のケア
 ・1か月健診でケアを中断する施設が32%あった。
 ・逆に、68%は断乳までは継続的にケアを行っている。

図12

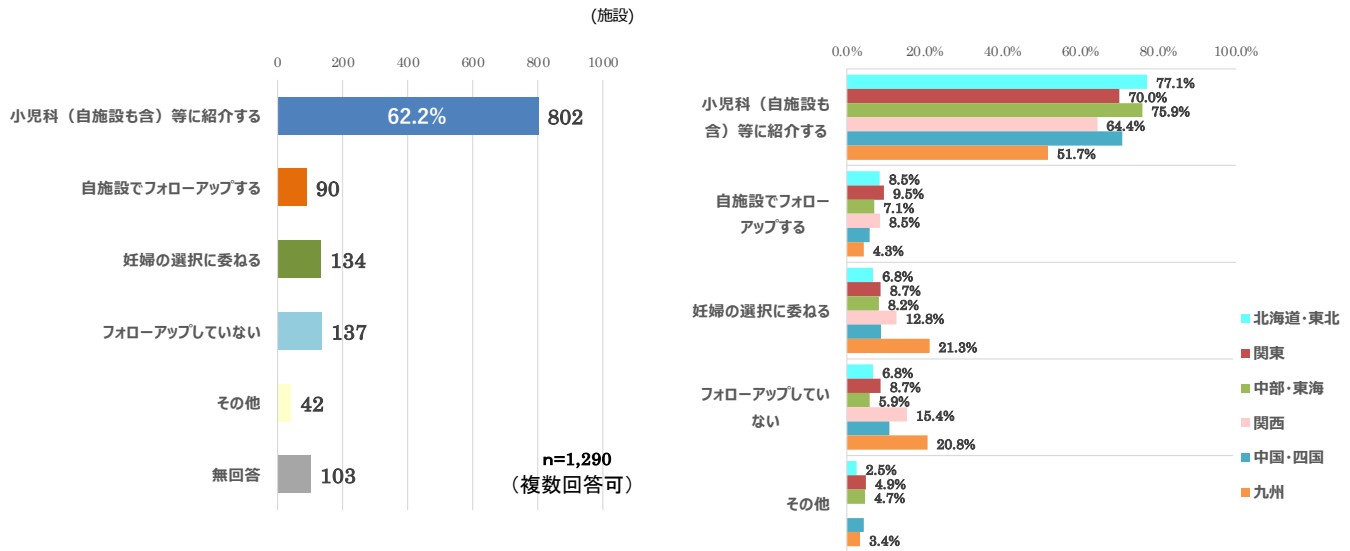
HTLV-1キャリア妊婦に貴院ではどのような授乳法を原則的に勧めますか。



・HTLV-1キャリアへの授乳方法の推奨は、人工栄養が80%、短期母乳栄養が約30%、凍結解凍母乳栄養が約20%であった。
 ・授乳方法の推奨における地域差は、九州で短期母乳栄養を推奨する施設が若干、多い傾向にある。

図13

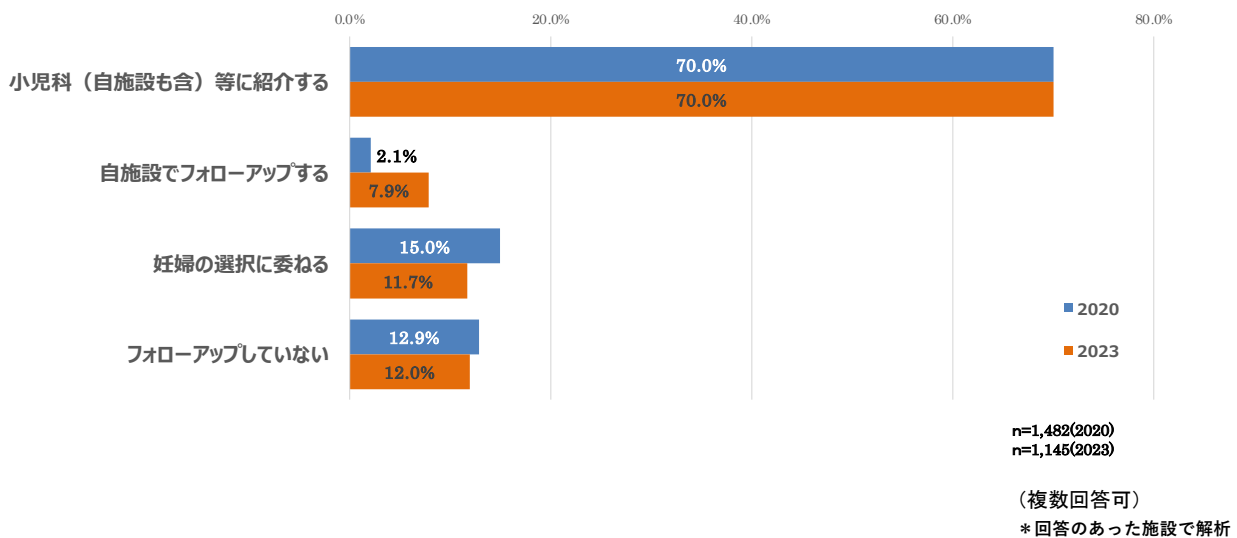
HTLV-1キャリア妊婦から出生した児のフォローアップはどのようにしていますか



- ・ キャリア妊婦から出生した児のフォローは小児科等に依頼して対応することが多い
- ・ 九州では妊婦の選択に任せる・フォローアップしていないという割合が若干多い

図14

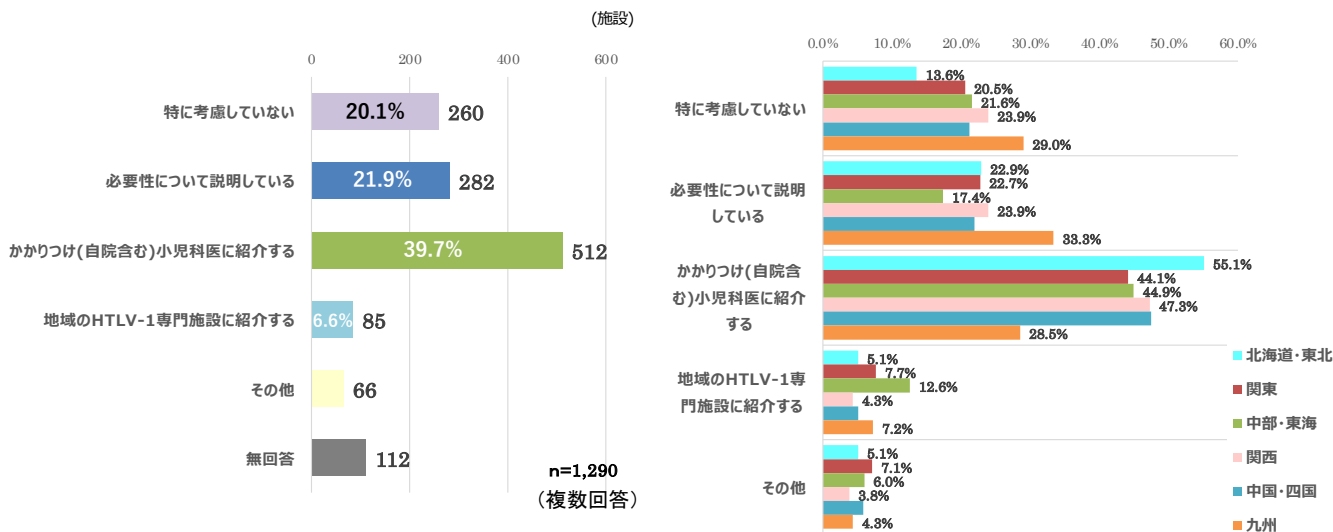
HTLV-1キャリア妊婦から出生した児のフォローアップはどのようにしていますか



- ・ キャリア妊婦から出生した児のフォローの実施率は若干上昇している

図15

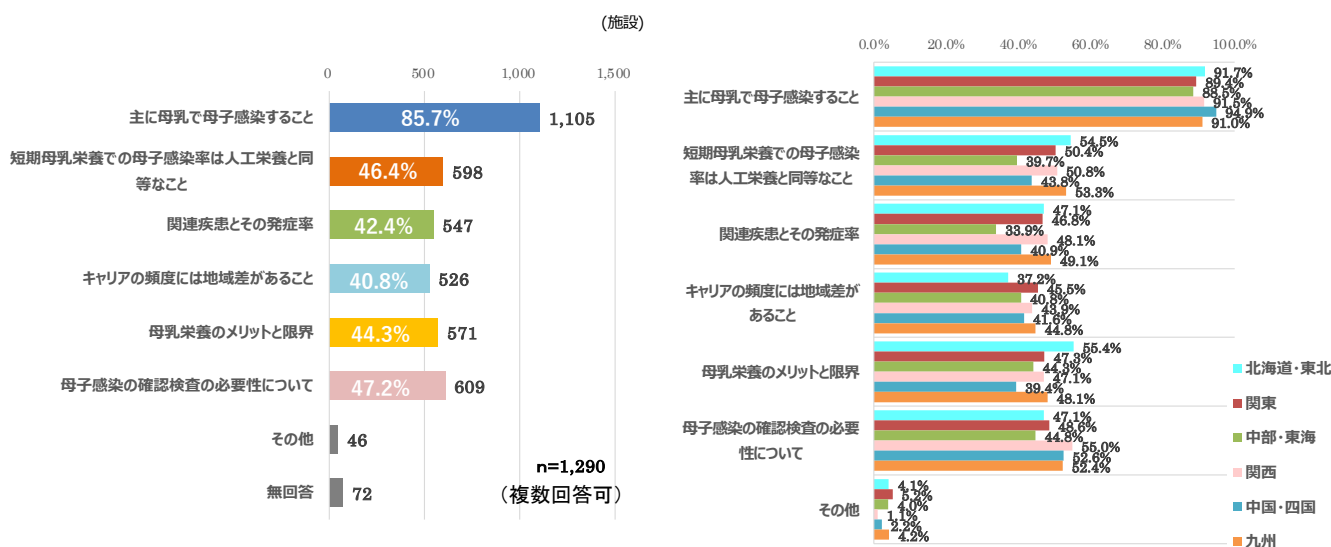
HTLV-1キャリアから出生した児の母子感染の確認のため、貴院では抗体検査についてどのように対応していますか



・母子感染の確認については20%の施設で特段の考慮はされていない

図16

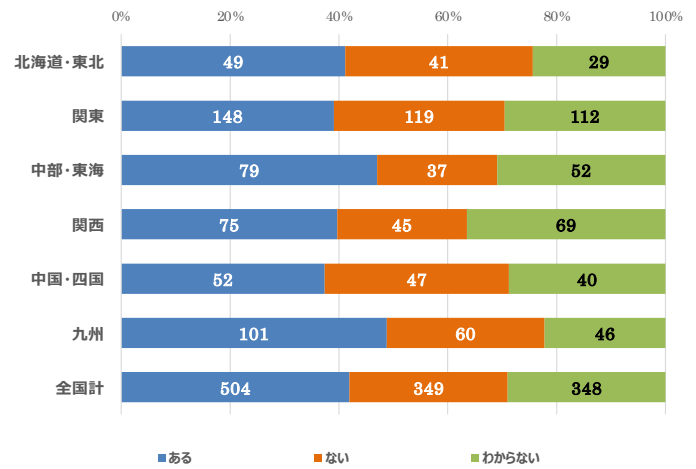
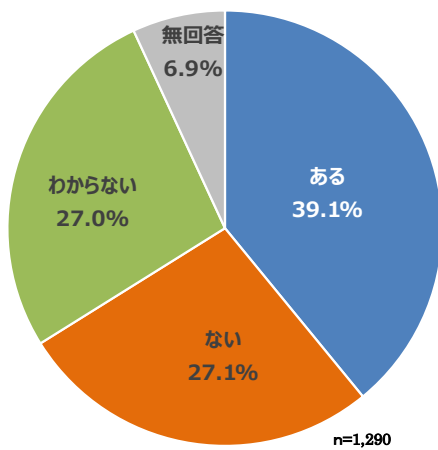
HTLV-1キャリアと診断された妊婦に対してどのような説明を行っていますか



・短期母乳栄養と人工栄養の母子感染率が同等であることはおよそ半分の施設で説明されている

図17

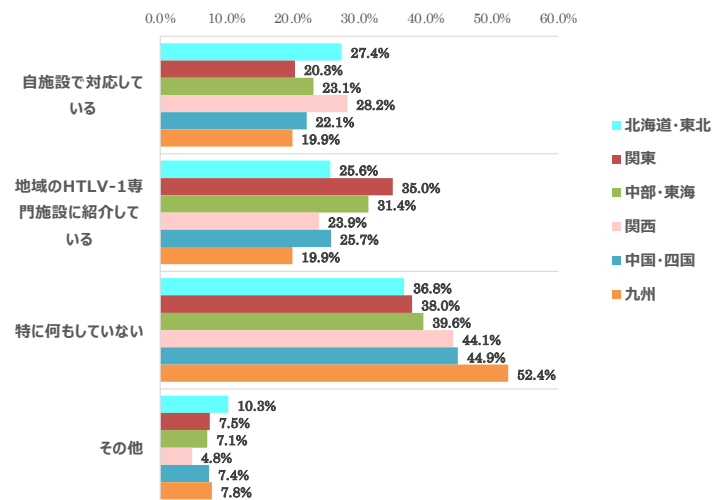
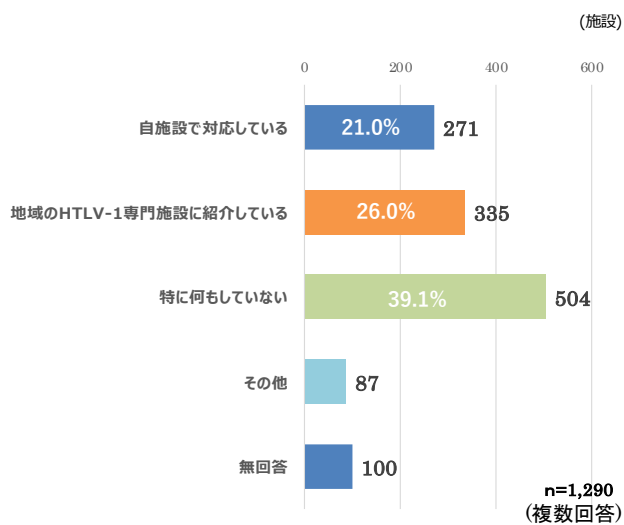
HTLV-1感染症についての専門的な診療を希望された場合、専門施設に紹介するシステムが地域にありますか



・約4割の地域にHTLV-1感染症についての専門的診療を行う施設を紹介するシステムがある。

図18

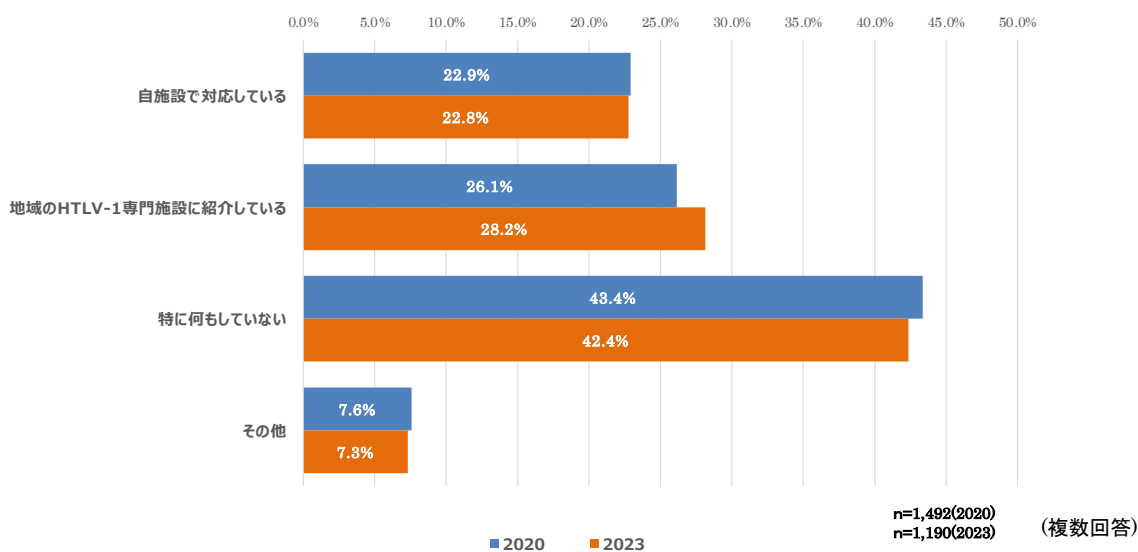
HTLV-1キャリア女性の分娩後のフォローアップについて、貴院に当てはまるのはどれですか



・分娩後にキャリア女性に対するフォローは4割の施設では何も行っておらず、その割合は九州でやや多い。

図19

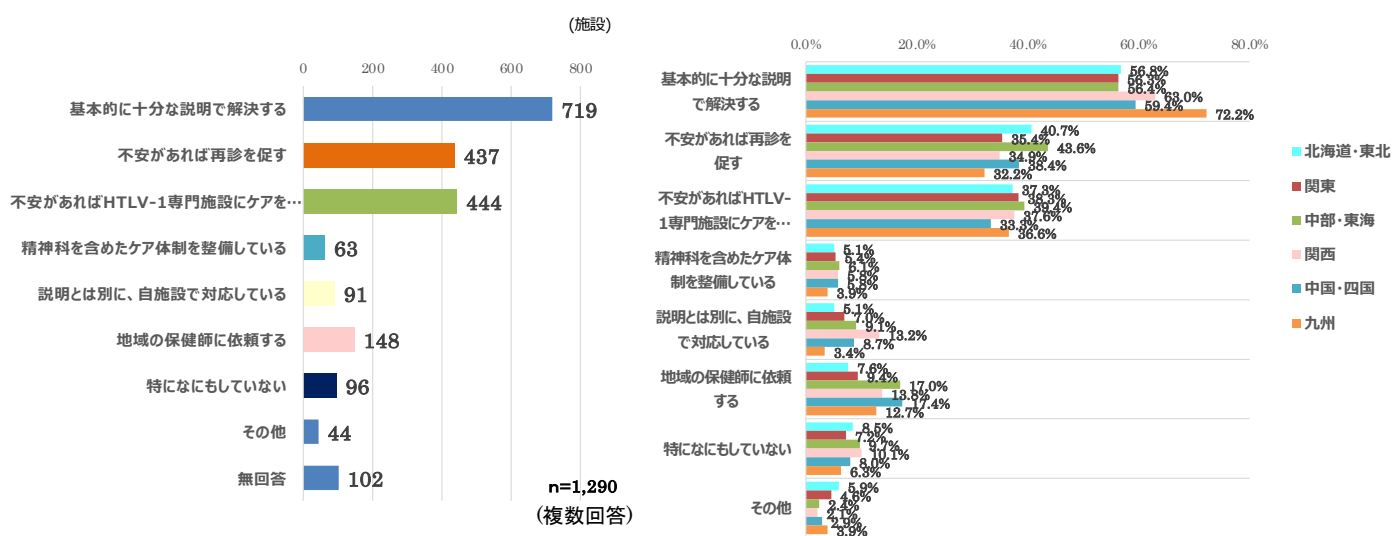
HTLV-1キャリア女性の分娩後のフォローアップについて、貴院に当てはまるのはどれですか



・ 地域のHTLV-1専門施設に紹介している割合が若干増加したものの、何も対応していない施設も多い。

図20

貴院ではHTLV-1キャリア妊婦の心のケアについてはどのようにしていますか



・ 心のケアに関しては、ケア体制が整備されているのは63施設(4.9%)のみで、不安に対して対応されているのみである。

図21

貴院ではHTLV-1キャリア妊婦の心のケアについてはどのようにしていますか

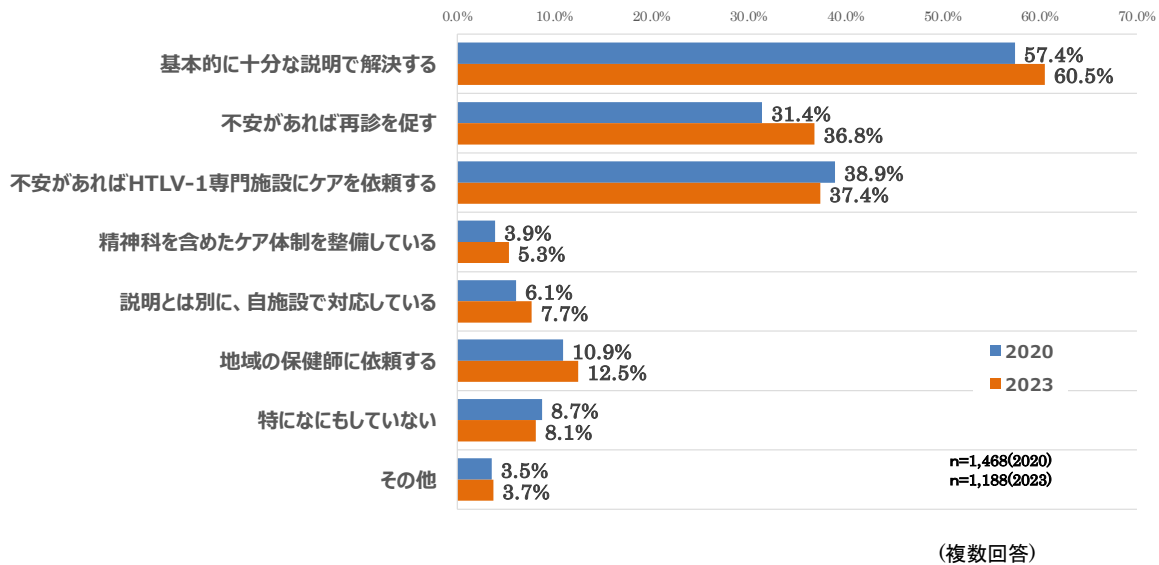
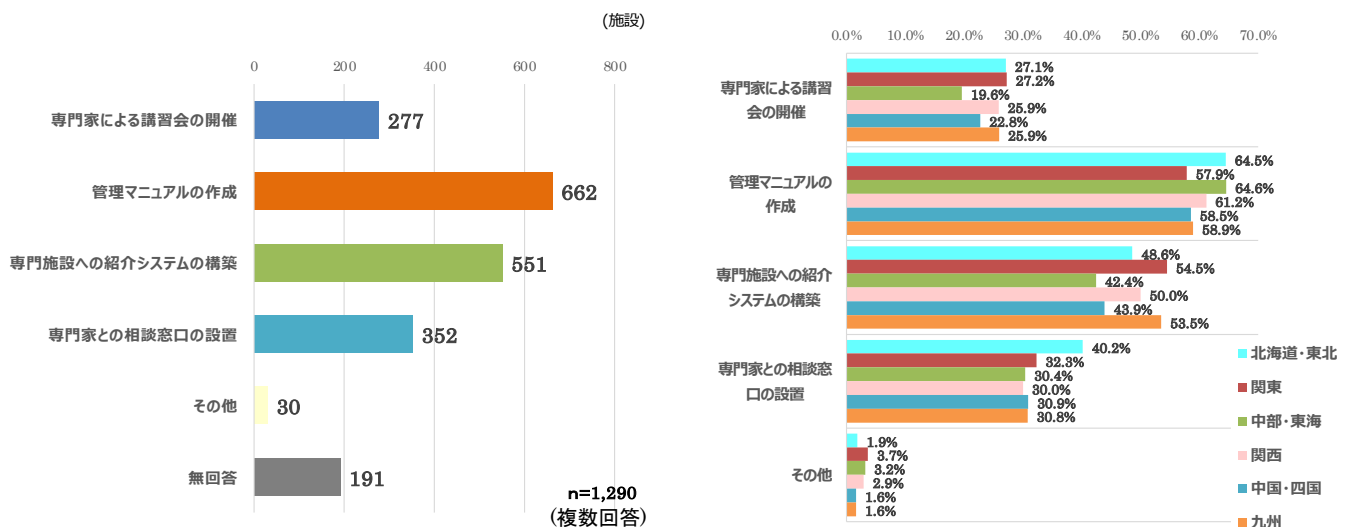


図22

HTLV-1キャリア妊婦の診療を充実させるために希望することはありますか



・診療充実のために、管理マニュアルの作成、専門施設への紹介システムの構築、専門家との相談窓口の設置、専門家による講習会の開催などを求める意見があった。

図23

HTLV-1キャリア妊婦の診療を充実させるために希望することはありますか

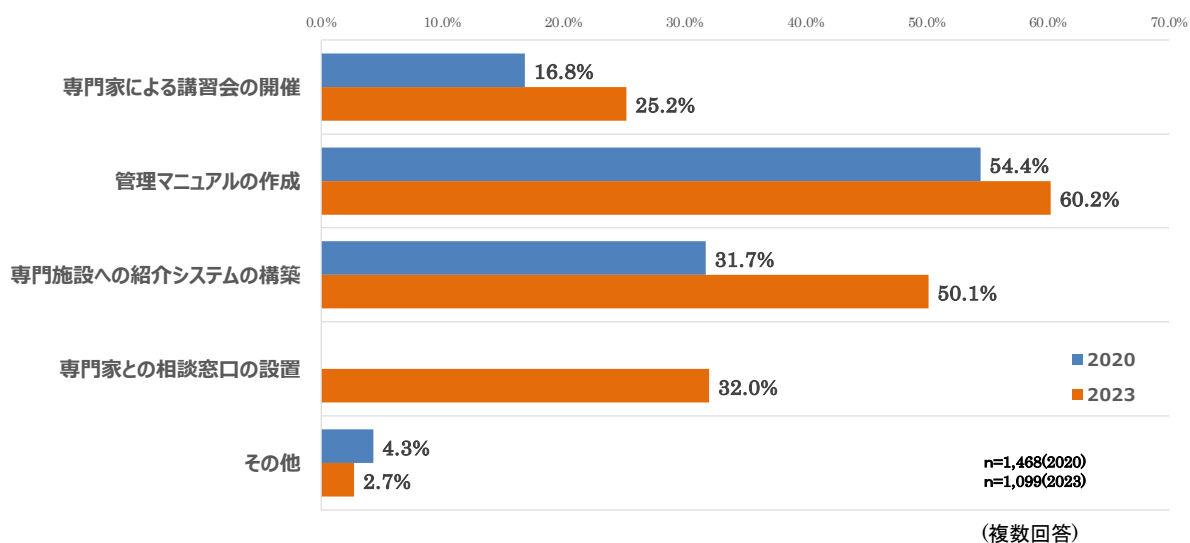


図24

HTLV-1キャリア妊婦の診療で困っていることはありますか

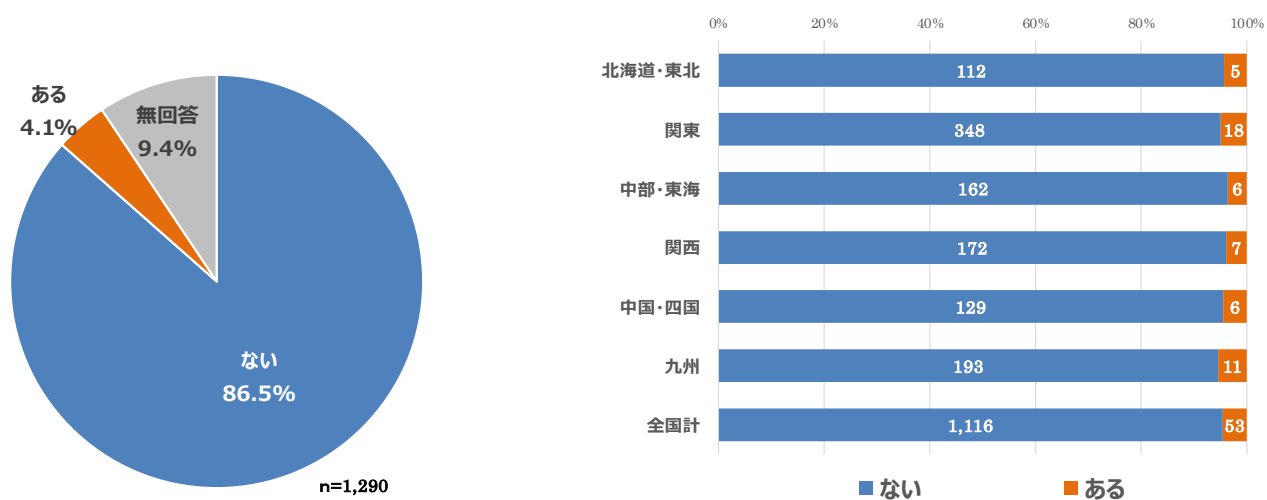


図25

HTLV-1キャリア妊婦の診療で困っていることはありますか

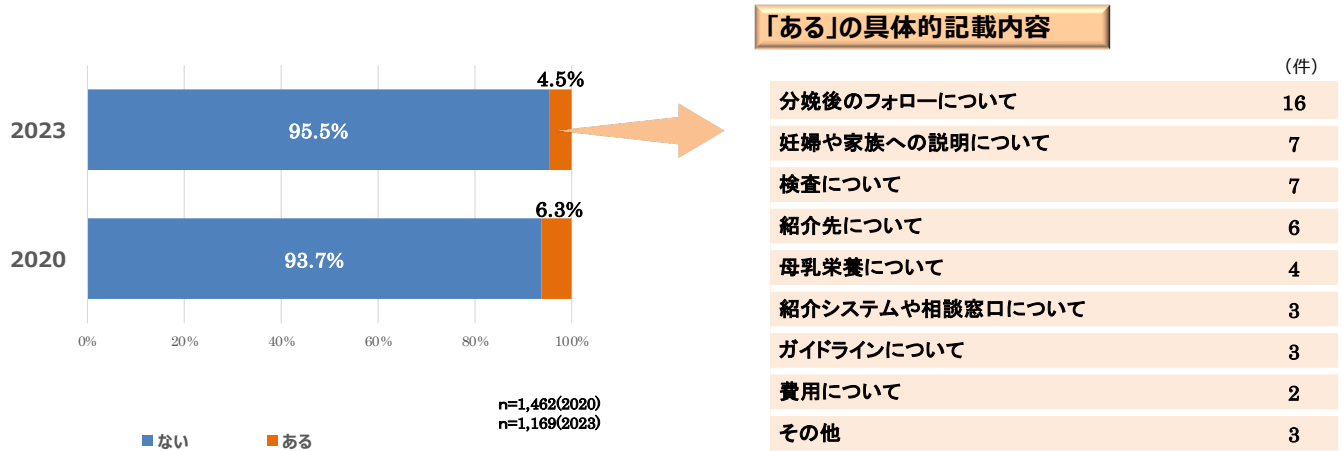


図26

まとめ

- HTLV-1のスクリーニングは広く行われており、陽性率は九州では高いものの明らかに低下傾向にある。
- 水平感染の可能性のあるHTLV-1キャリアが7.3%いることが確認された。
- HTLV-1キャリアの77.4%は人工栄養を選択しており、短期母乳栄養は12.8%である。
- HTLV-1キャリアと診断された妊婦のこころのケアについて配慮する施設もある。
- 短期母乳栄養の選択者について
 - 九州と関西で多い傾向にある。
 - 母乳ケアは助産師を中心に担われている
 - 3分の1は1か月健診でケアが中断されている
 - 4分の1ではフォローが行われていない
- HTLV-1キャリアから生まれた児のフォローは小児科医に依頼されることが多く、フォローアップされていないことも1割以上ある。
- 産後のHTLV-1キャリア女性のフォローアップを専門施設に紹介したり、自施設で行うのは50%以下である。
- 約40%の施設地域にHTLV-1専門施設に紹介するシステムがある。

図27